



SCOUT CHIBA

スカウト ちば

平成20年度の目標
より良いスカウティングを
より多くの青少年に

発行：日本ボーイスカウト千葉県連盟
PR・コミュニケーション委員会
発行責任者：中川 義夫 編集長：上野 孝

〒263-0016 千葉県稲毛区天台6-5-2 千葉県青少年女性会館内
TEL 043-287-1755 FAX 043-287-1786

<http://www.scoutchiba.jp/>

	回数		隊数		団委員		指導者		スカウト		その他		計	
	登録数	前年度末数	隊数	前年度末数	指導者	前年度末数	スカウト	前年度末数	その他	前年度末数	計	前年度末数		
登録数	119	120	555	561	1,586	1,622	2,243	2,235	5,401	5,638	2	3	9,232	9,498

[加盟登録状況]平成20年8月末現在

第17回 日本ボーイスカウト千葉県カブラリー開催!

平成20年6月1日(日曜日)、2,234人が参加して千葉県カブラリーが開催されました。みんなの願いがかない、昨日までの雨もあがり暑いぐらいの快晴になりました。

これまでとはちがいに、お友達の隊と一緒に自分達のプログラムにより、元気に活動しました。

県立幕張海浜公園での全体集会では、飛行機からの写真を撮り、記念の下敷きを作りました。

参加章に使用したシンボルマークは400人を超えるスカウトの応募作品から選ばれたもので、5人のカブスカウトが表彰されました。

大会当日のスナップ写真は、PRコミュニケーション委員会により90枚ほどを、千葉県連盟ホームページに掲載してあります。どうぞご覧ください。

<http://www.scoutchiba.jp/>



第17回千葉県カブラリーを記念して作られた、下敷き。

富士章受章スカウト 代表表敬訪問報告

東宮御所表敬訪問

流山第3団 ローバースカウト隊 石松 純

今回の表敬プログラムは、新たに富士章を獲得したスカウトの代表が、ボーイスカウト運動を支援してくださっている皇太子殿下に、挨拶とお礼を奏上するという目的のもとに行われました。参加した一連の行事の中で、一生忘れまいと思う瞬間があります。それは、皇太子殿下にひとりひとり声をかけていただいたときの事で、「あなたのアワードはどうでしたか?」という言葉。時間も短く、全員にいただけたのはそれだけでしたが、全国から集まった富士スカウトにとって、最も尋ねていただきたかったことだと感じました。今まで取り組んできた活動の集大成であり、何か自分のスカウト運動を支えたのか、誰と一緒に歩んだのかということ、そんな個性溢れる様々なアワードを仲間には口に、私も少し長め(本当はいけないのですが)に話しました。サークルや勉強で忙しい申続けたボーイスカウトをこれほど誇らしく思った瞬間はおそらく今後無いでしょう。後輩たちにもあの気持ちを一人でも多く味わってほしいと思うと共に、多くのスカウトの代表として、皇太子殿下にその内容を尋ねていただくにふさわしいアワードによって富士章を取ってほしいと感じています。



富士章受章代表スカウトとお話になる皇太子殿下(東宮御所) (写真：宮内庁ホームページより引用)

代表表敬訪問報告

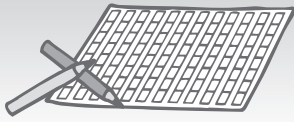
文部科学省・首相官邸表敬訪問 旭第1団 ベンチャースカウト隊 炭田 晃希

僕は4月2日に文部科学省・首相官邸へ行ってきました。文部科学省では渡海紀三郎大臣に、首相官邸では大野内閣官房副長官とお会いしました。

時はガソリンの暫定税率で国会が大論争を繰り返していた時です。前日に代表表敬のために全国から集まったスカウトたちはみんな「福田総理は僕らにあってくれるのだろうか?」と想いを募らせています。スカウト会館で受付を済ませ、しおりに目を通すと渡海文部科学大臣の紹介はあっても福田総理の紹介は見つかりません。僕たちの不安は高まるばかりです。そして、開会式・オリエンテーションが続くなか「福田総理は都合が合わず、お会いできません」この一言は僕のハートに深く突き刺さりました。

リハーサルは2日間合計で4時間以上。気をつけの姿勢からお辞儀の仕方まで、とても厳しいものでした。きっと、これ以上立居振る舞いを気にすることはないというほどみっちり教わりました。

表敬の際はボーイスカウト振興国会議員連盟の議員の方も参加いただきました。僕はここまでやるのかと思っていましたが、実際に国会議員の方に会うとすごいオーラで手に汗が滲むほど代表表敬は厳かに行われました。一生に一度のとてもよい経験でした。



ちばけんれんめい 第17回 千葉県連盟カブラー

千葉第6回

あびこ2回と 青い空の下 カブラー	七海 萌(くま)
カブラー また行きたい カブラー	松本 峻太(しか)
楽しいな 友ができて うれしいな	共田 寛生(くま)
カブラー 友達いっぱい うれしいな	岡本 恭兵(しか)
空とカブ 青が広がる カブラー	大川 優子(うさぎ)
カブラー あびこ2回と 歩いたよ	青柳 克輝(しか)
カブラー みんな集まる カブラー	石渡 直也(くま)
カブラー すごく楽しい カブラー	坂東 和真(しか)
カブラー 思い出残す みんなのいずみ	石渡 真也(うさぎ)
カブシャトル ほんとに来ると 思わない	高橋 直希(しか)
カブラー とっても人が 多かった	松田 篤典(うさぎ)
まくはりで 楽しかったよ カブラー	尾崎 実穂(くま)
カブラー あびこ2回と 楽しい日	伊藤 琴音(くま)
まくはりで 千葉のみんなと カブラー	古家 和将(しか)

千葉第9回

まくはりに スカウトしゅうごう カブラー	鈴木 篤弘(うさぎ)
カブラー いろんななかま みつけたよ	山田明日美(うさぎ)
ちがう組 たのしくいっしょに カブラー	小澤 優菜(しか)
幕張で いろいろしたよ カブラー	高濱 剛(しか)
カブラー 空さつ写真 楽しんだ	小林 歩実(くま)
カブラー <small>やまだこうさく</small> 山田耕作 さつまいも	石出 祥也(くま)
<small>なかま</small> 仲間との <small>ゆうじょうふか</small> 友情深めた まくはりの街	内 歩(くま)
まくはりに 千葉のスカウト あつまった	嶋崎 大樹(くま)

千葉第14回

ひこうきがくるよといっただけでなかなかなくなくてまたかなと思っていました。

	伊丹 幸輝(うさぎ)
ひこうきが くるりくるりと とんでった	鈴木 勇人(うさぎ)
カブラー 歩きつくれた 友だちできた	阿部 仁美(しか)
カブラー みんないっしょで たのしいな	及川 まみ(しか)
暑かった でもがんばった カブラー	田中 美希(くま)

千葉第21回

カブラー いちばんのりで ゆうしょうだ	藤橋香菜子(くま)
カブラー みんなで遊んで たのしいな	永野 智大(くま)
カブラー みんなで楽しく おべんとう	新田 宙生(しか)
カブラー いろんなたいの 子どもたち	加宅田 章(うさぎ)
カブラー お休みしたから わからない	猪脇 優華(うさぎ)
カブラー いっぱいあるき つかれたよ	五味 愛理(うさぎ)
カブラー あつかったけど たのしいね	平野 啓亮(うさぎ)
カブラー みんななかよく たんけんた	小嶋はるか(くま)
カブラー みんななかよく たんけんた	加藤 優尚(しか)
おかしいな クックの右うで N隊長	高萩 朋香(しか)
カブラー みんななかよく あそぼうね	馬場 康輔(うさぎ)
カブラー みんなで仲よく あそぼうね	鈴木沙也果(うさぎ)
カブラー みんな仲よく こうどうだ	佐川 貴要(うさぎ)
カブラー みんななかよく こうどうだ	奥村 航輝(うさぎ)
カブラー 行きたかったよ ざんねんだ	在田 竣哉(くま)
カブラー みんなたのしく いってきた	守谷 春輝(しか)
カブラー せかいで一回 たのしい日	佐々木菜緒(うさぎ)
カブラー みんななかよく あそんだよ	北野 多恵(うさぎ)
カブラー みんななかよく できたかな	尾崎 海斗(うさぎ)
カブラー みんななかよく やったよね	鹿野 航介(うさぎ)
かがんで たのしかつたな カブラー	渡部 将紘(くま)
カブラー ポイントハイク たのしいな	五味 拓斗(くま)
いけなくて ざんねんだったな カブラー	馬場 達也(しか)
カブラー 楽しかったな ひこうきバイバイ	尾下 颯哉(うさぎ)
カブラー ゆうこうたいと あそんだよ	今井 琉夏(うさぎ)
カブラー たからさがしは たのしいね	大松 海斗(うさぎ)
あつかった でもがんばった カブラー	桑元麻由佳(うさぎ)

船橋第10回

市原のスカウトと仲よくなって楽しかった。	塩野 遼(くま)
市原6回では、おにぎりの具が自由でおどろいた。	亀田 深太(しか)
市原6回には女子がいたり、人数が多かったのでおどろいた。	広川凜之介(くま)
カブラーで一番心に残っているのは、こう空写真をとった時。	吉田 周生(しか)
さいごのへい会式は暑かったけど楽しかった。	吉田 知央(くま)
こうくう写真をとる時に空がまぶしかった。	片山 哲(くま)

柏第6回

カブラー みんな集まる 集会だ	寺町 優太(しか)
カブラー あるきつかれて あるけない	飯田 紗名(しか)
カブラー <small>よていどお</small> 予定通りが ちこくした	有賀 廉人(しか)

柏第7回

カブラー 友だちふやし 楽しもう	千賀 脩太(くま)
みんなで遊んでよかったし みんなに会えてよかったな	千田 菜生(しか)
カブラー みんななかよく うれしいな	湯浅 主基(しか)
カブラー みんななかよく ともだちさ	上田 知生(うさぎ)
カブラー みんなたのしく あそぼう	松本 光司(うさぎ)
カブラー みんないっしょ ゆかいだな	深山 祥海(うさぎ)
カブラー みんなであつまり 楽しいな	河股 純仁(くま)
カブラー 暑くてきつくて のどかわく	太田 龍我(しか)
カブラー とつてもつかれて へとへとだ	岩瀬 将史(しか)
あたらしい ともだちできた けんかした	程田 真美(うさぎ)
カブラー とつてもすごく 楽しいな	柴崎 美幸(くま)
カブラー カブたいあつまり おおさわぎ	斉藤 司(しか)
カブラー みんなで歩いた つかれたな	浅野目航也(しか)
カブラー こうくう写真を とりました	吉原 萌未(しか)
カブラー めいしこうかん たのしいな	斉藤 大芽(うさぎ)
カブ隊の 元気の良さには 負けたくない	小和田実実(ゲスト)
カブラー 楽しかったが 暑かった	小和田真代(くま)
つらかった ずっと上を見て 立っていた	宮浦 大樹(くま)
カブラー つぎはあつさに 負けないぞ	熊谷 尚弥(しか)
カブラー いいおもいでが できたよお	物江 大希(しか)
カブラー たのしかつたが つかれたよ	渡邊 宏哉(しか)
カブラー 山のてっぺん とけいあり	中村 優太(うさぎ)
カブラー たのしかつたが あつかった	小寺 皓太(うさぎ)

柏第10回

カブラー カブといっぱい あそんだよ	小林 雅(しか)
カブラー たのしくつなぐ 友達の輪	羽場 湧也(くま)

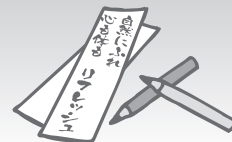
流山第4回

カブシャトル 作って飛ばして ほろほろだ	岩館 拓也(うさぎ)
駅からで 電車に乗ったら 満員だ	松本 泰気(うさぎ)
カブラー 人間ものさし むずかしい	山口 祐亮(しか)
司会さん カブシャトルじゃない うそつきだ	町田 裕麿(しか)
幕張の 空に舞い飛ぶ セスナかな	広瀬 智也(くま)

流山第5回

モニュメント探しが楽しかった。	小笠原明花(くま)
航空写真の下敷きが楽しみ	村上 貴俊(くま)
モニュメントを探しながら歩くのが楽しかった	斉藤 俊(くま)
いろいろ発見ができてよかった	竹村 仁奈(くま)
みんなで力をあわせて、地図で探せてよかった	吉木悠里子(くま)
電車の移動が楽しかった	大村 元春(くま)
歩きつくれたけど、探すことが楽しかった	吉野朱宇渡(くま)
モニュメント探しをみんなと協力しあえてよかった	吉田 健人(くま)
男の子が、モニュメントにおもしろい名前を付けて、笑いそうだった	中野 真由(うさぎ)
いろんな形のモニュメントがあって、とつてもおもしろかった	石井 優輝(うさぎ)

カブスカウト、俳句・感想文



モニュメントをみんなで探して、写真とかをとってとてもおもしろかった

吉木 達郎(うさぎ)

松戸第1団

モニュメントを探すラリーでは一位をねらったが、全然届かす悔しかった。でも楽しかった。

石黒 智子(しか)

カブラリー 皆で歌う 輝く明日

全 泰蓉(しか)

カブラリー 友達いっぱい 作ったよ

水谷 彰利(しか)

暑かった スカウトいっぱい カブラリー

若生 裕希(くま)

香取第2団

カブラリー ほかの仲間と協力だ

石川 拓磨(くま)

カブラリー とってもとっても つかれたよ

平島 直樹(くま)

カブラリー とってもとっても たいへんだ

須藤 久哉(しか)

カブラリー とってもたのしい 思い出だ

菅谷 翼(しか)

カブラリー あつくてあつくて たいへんだ

羽鳥 和希(しか)

カブラリー かい段のほって つかれたなあ

飯田 貴蘭(しか)

カブラリー つまなくて つかれたよ

平山 果穂(うさぎ)

カブラリー とってもとっても たのしいな

越川 朋美(うさぎ)

香取第3団

カブラリー ならしの2団 たのしいな

田名網万紀(くま)

カブジェット 青空の中 とんできた

郡 彩乃(くま)

バスの中 ゆいつの写真は 頭だけ

浅野 優人(くま)

カブラリー 友だちたくさん できました

菅澤 由衣(くま)

カブラリー 川あそびは たのしいぞ

青柳 日向(しか)

思い出が あふれあふれる カブラリー

前島 琴音(しか)

カブラリー ビルのたにまの モニュメント

久保木佑実(しか)

したじきか 待ち遠しいよ カブラリー

片野 瑞希(しか)

カブラリー ビルのちかくの モニュメント

郡 愛梨(うさぎ)

たのしいな 友だちいっぱい カブラリー

山下 真央(しか)

習志野の 梅雨の晴れ間に 人との輪

村上 太陽(くま)

友だちに なれるといいな カブラリー

村上 瑠奈(うさぎ)

銚子第2団

カブラリー とばしてあそぶ 楽しいな

谷下田奈波(うさぎ)

ひととおい まよいそうだよ たいへんだ

高木 正樹(うさぎ)

のりかえがあまりにも多くて 多クラリ

竹内 拓也(うさぎ)

でん車で、はいくを書いて たのしいよ

田村 大地(うさぎ)

ガタンゴトン 電車でゆられて カブラリー

渡邊 大智(しか)

みんなでね あるいて走って さがしたよ

岩井 鈴鹿(しか)

旭第1団

自然にふれ 心も体も リフレッシュ

伊藤 祐希(くま)

モニュメント カブラリーでは たからもの

中澤 英晃(くま)

歌声が 街いっぱいひびいてる

梅原 琴美(くま)

組でね モニュメントの まねをした

向後 冴香(しか)

うたったよ かがやくあした 元気よく

小川 航輝(うさぎ)

他の団のカブ隊と一緒になかよくできてよかったです

小嶋 七海(くま)

旭第2団

カブラリー 3000人の お友達

増田 悠人(くま)

カブラリー 三年一度の カブ祭り

佐藤 貴郁(くま)

カブラリー 歩くのつかれた モニュメント

松本 航季(くま)

モニュメント ちからを合わせて 見つけたよ

高倉 楓麻(しか)

カブラリー あお空に手をふる こうくう写真

菱木 敦土(しか)

モニュメント へんかたちなが いっぱいだ

佐藤 海斗(うさぎ)

匝瑳第1団

うらやす市のカブ隊といせきハイキングができて楽しかった

石田 舞(くま)

千葉県内だけでも、こんなにカブスカウトがいるとは思わなかった。

菱木 翔太(くま)

ほかの隊とこうりゆうできて、よかった

石毛 果穂(くま)

市原第1団

カブラリーは 楽しかった

大野 太一(うさぎ)

たのしかったけど町かどしんさいがないくてうたえなかった。長嶋 亨(うさぎ)

カブラリー あつくて ちつとくらとした 依田 佑樹(うさぎ)

カブラリー いきたかったけど 運動会 竹之内雄也(うさぎ)

カブラリー 飛行機くるのが おそかった 常世田尚志(うさぎ)

したじきは どうしたのかな 早く来い 高梨 愛菜(しか)

カブラリーは あつかった 赤塚 艶波(しか)

カブラリー おもしろかった うたはない 渡辺 一樹(くま)

カブラリー 歌をおぼえた 意味がない 常世田千尋(くま)

まく張で きずな深めた カブラリー 長島 萌(くま)

カブラリー すごく暑くて 死にそうだった 森下 喜(くま)

市原第6団

クマ集会で友達になった子に会えて嬉しかった。 中島 七海(くま)

もう少し他の団のスカウトと楽しいことをしたかった! 満田 卓人(くま)

友好隊に 動く名刺を もらったよ 森 崇志(しか)

大変だ あつくてすごい カブラリー 天羽 晃基(しか)

写真のひこうきがなかなか来なくてまちくたびれました。 蓮池 和樹(うさぎ)

茂原第2団

9団と一緒に歩いたふだ探し 全部は見つからなかったけど楽しかったよ 鈴木 啓介(くま)

たくさん歩いて大変だったけど、他の団の友達と話が出来てうれしかった

大野 愛依(くま)

航空写真おもしろかった 早く出来上がりが見たい 野村 飛来(しか)

他のカブとチームになって歩いたことが楽しかったです 今井健太郎(うさぎ)

幕張に 輝く明日が 光ってる 石井 拓哉(くま)

カブラリーでたくさんのスカウトを見て、人数におどろきました

今関 綾佳(くま)

カブラリー 友達いっぱい できました 鈴木 淳也(しか)

1組と食べたごはんのつけものがおいしかった 河野 裕也(うさぎ)

幕張で 青木こんよう 調べたよ 遠藤つむぎ(くま)

セスナから みんなの写真 とれたかな 佐藤 嶺(しか)

楽しいな みんな集まる カブラリー 柴崎 壮礼(しか)

千葉9団 いっしょに活動 よかったな 長谷川智彦(うさぎ)

カブラリー はいくでまとめて すつきりだ 鎗田 一輝(くま)

ハイキング ベーデンパウエル 出てきたよ 菊元 洋佑(しか)

カブラリー スカウトなかま いっぱいだ 青木 大祐(うさぎ)

木更津第2団

カブラリー 楽しかったよ 町たんけん 渡邊翔太郎(うさぎ)

カブラリー たのしかった! 増田 翔(うさぎ)

ざんねんだ 行きたかったな カブラリー 一之瀬寛巳(うさぎ)

ざんねんだ カブラリーには 参加できず 地曳 章(しか)

カブラリー 三年一度の イベントだ 笹生 一登(くま)

暑い中 飛行機を待つ 早く来い 松田 峻司(くま)

たのしいな 三年一度の カブラリー 船田 瑞樹(くま)

新しい 出会いがあった カブラリー 庄山 拓磨(くま)

カブラリー ほかの団とも 仲良しだ 斎藤 舞華(くま)

カブラリー やちよの人と たんけんだ 篠原あやか(くま)

袖ヶ浦第1団

カブラリー 行きたかったな カブラリー 笹生慎太郎(くま)

カブラリー 海斗と笹生 いなかった 渡辺 海斗(くま)

隊ごとに チーフが違う 組旗の木が違う 田春 将也(くま)

野田7団と 一日させて よかったよ 石黒 彩衣(くま)

カブラリー 思い出いっぱい たからもの 野内 麻由(くま)

富里第1団

私はカブラリーで組長をやりましたが、みんなが、ちゃんとまとまってくれなかったからちよつとイラツとしておこつたら、ちゃんとまとまってくれたので、とても楽しくできました 寺口 紗代(くま)

またあった モニュメントさがし ビルの谷 門馬由里子(くま)

私の一番うれしかったことは、モニュメントさがして、一番早く到着して、一番点数がとれて優勝したことです。 吉浜さやか(くま)



かんにち

韓日フォーラム・韓国ジャンボリーに参加して

かんこく

さんか



千葉県連盟 千葉第21回ベンチャースカウト隊 高柳 京征

今回の韓国派遣は大きく分けて三つの事がありました。

フォーラムでは韓国のスカウトと6:6になって『よりよき理解、明るい世界』という大きな題材を元に食糧問題や人種差別、青少年の犯罪等様々なジャンルの事柄について話し合いました。

韓国でも日本と同じく青少年の飲酒、喫煙などが問題になっている事を知り、何処も変わらないなあと思いました。韓国の人が一番驚いていた事はフォーラム参加前に日本で起こっていた自分の両親を殺害した事件でした。この事件に関して僕が話した時は文字通り言葉を失っていました。韓国では儒教の教えが強く、年上や恩師を敬います。この文化の全てを知っているわけではありませんが、年上を敬うという点で日本人も見習うべきだと思います。人種差別の問題は難しすぎて、僕たちの班で話した時は結論が出ませんでした。

フォーラムは基本的に英語で行われたために意見の交換がとても難しかったけれ

ど、自分の意見を何とか話すことができ、前回参加した日米フォーラムよりも良い結果を残す事ができたと思います。

ジャンボリーでは、韓国の隊に5~6人で割り振られ生活をともにしました。ここでもっとも実感したことは、韓国の年功序列の厳しさです。プレゼントを渡すときに日本だと基本的にジャンケンで決めたりするけれど、韓国では一番年上の人が一番欲しいものをもらい、年下の子はもらえない事もありました。荷物の番を一番年下の子にさせるという事もざらでした。

ジャンボリー自体の内容としては、チャレンジバレーというアスレチックやアーチェリー、海でのプログラム等基本的に楽しむものでしたが、一番印象に残ったプログラムは、38度線の見学とその近くにある戦争記念館への訪問です。ここでは実際に戦争で使われた兵器、食器、さらには骸骨までもありました。僕たち日本人はあまりにも戦争というものを知らないなと思ったことと、韓国の人には兵役の義務がありこ

れを見てどう思うのだろうかとか様々な事を考えました。

ホームステイでは、二人で一つの家庭に派遣されました。僕の行った街は観光向けではないらしく、屋台のものの買い食いやその辺をぶらぶらしたりする事でしたが、逆に観光地とかに行くのではなくそういったことができ新鮮でした。

最後に僕が考える海外派遣に持っていくほうが良いものは名刺で、百枚ぐらい持っていくと余裕があつていいと思います。また僕は日本的なお土産(甚平、お箸)を持っていきましたが、現地でサポートをしてくれた人の話によると、ものが増えると困る家庭もあるから食べ物が無難だそうです。この派遣を通し、ただ知るだけでなく、異文化を実感する事ができました。今後もボーイスカウトだけではなく、私的なことでも異文化について知り、今回出来た仲間との関係を絶やさずに行きたいと思っています。



ローバースカウトシンガポール派遣プロジェクト報告

千葉県連盟ローバースカウトシンガポールプロジェクトは、現地病院での奉仕をはじめとする個人プロジェクト、日本連盟シンガポール第1団のスカウト達との交流を目的として3月に現地を訪問いたしました。日本人会婦人部のご協力により、病院でのボランティア活動として、車椅子や末期がんの方達とともに、ミュージックエクササイズや、ハンドマッサージなどを行いました。とても印象的だったのは病気にもかかわらず、常に笑顔で楽しそうに生活していたところでした。また個人プロジェクトは、「宗教」「文化」「建築」「植物」「衣」「介護」のテーマにより調査研究をしました。これらの活



動をおして、日本との違いを見聞できたことは、これから社会人になる私たちスカウトにとって大切な、より広い視野を持つことへの第一歩だったと思います。また海外で仕事をする日本人の姿を身近に拝

見して、国際社会で活躍するとはどういうことかを考える良い機会となりました。

シンガポール第1団との交流では、たちかまど作り、キャンプファイヤー、モンキーブリッジ製作などをボーイ隊のスカウトと共に行いました。またビーバーやカブのスカウト達とは、ゲームなどをおして交流を深めました。交流をおして、年長のスカウトがいない彼らに、スカウティングの楽しさを伝えることが出来たのではないかと思います。これらの経験を自団での隊指導者奉仕において、今後生かしていきたいと考えています。

今回の派遣の評価反省を十分に行い今後

ちばけんれんめい
千葉県連盟ベンチャー
 かいさい
スカウトフォーラム開催

平成
19年度

開催場所：ボーイスカウト日本連盟那須野営場
 開催期間：平成20年3月28日～3月30日(2泊3日)
 開催形式：隊編成のもとでキャンプ生活

テーマ

「日本のボーイスカウトを知ろう! 知ってもらおう!」

世界各国と比べ、日本のボーイスカウトに対する知名度は低い。私達が、制服で活動をしているにもかかわらず、その存在を知らなかったり、間違った認識をしている人が多いことが悔しいという意見が多かったのも、もっと周りの人に「知ってもらいたい」、そのために自分たちも「知ろう」ということで、このテーマになりました。

採択文

「受身はダメ!! 活動を通して自分のボーイスカウトを見込そう」

知るには、知るための機会を待つのではなく、自ら機会を創ることが大切だということです。「自分のボーイスカウト」を見込すことは、「ちかいとおきて」があるから活動をしているのではなく、普段の活動の中から、「ちかいとおきて」の自分なりの解釈を見込すということです。

アクションプラン

- ・県で集まってスカウト研修をもっとしたい。活動の範囲を外に広げる。
- ・ビーバースカウト、カブスカウトが身近な人を誘える活動を企画する。
- ・指導者への提案
『スカウトちば』や日本連盟で出している広報をもっと一般に広めて下さい。
この県連盟フォーラムのテーマをもっと大きなところへ持っていき、話し合いたい。

参加スカウトの自由意見・感想

A. 今回、隊集會もあまり出来ずに本番を迎えて不安がたくさんあったが、フォーラムも順調に進んで良かった。ほっとした。
 野営とフォーラムを同時に行うのは案外時間が無くて本当に大変でした。良い話し合いが出来たので、本当に良かった。

B. 今まで全く知らない人とキャンプをするのは一度もなく不安だったけど、このように同じ意見を持つような人に会えて良かったです。



C. 不安要素が多かったのですが、来てみるととても楽しく非常に良かったです。パイオニアリングは自分の思いもよらない方法で足場(橋げた)を固定していて驚きました。
 ただ、班生活やフォーラムではかなり人に頼ってしまったのは反省です。
 ですが、総合的に見て参加して本当に良かったと思います。「今回はありがとうございました」

D. 夜の活動が多い。食品に無駄が多い。実行委員が良かった。リーダーが良かった。

E. ベンチャーとしての技術力が上がった。また地域差も見られて面白かった。もっと高度なことをした方がよいと思う。

F. 自分の隊ではできないようなことも経験できたし、学ぶことも多かったです。
 今回学んだことを後輩達にも伝えていけたらいいなと思います。

G. 隊集會の土曜日実施は私立通いには不親切。キャンプ自体は設備が充実していたので非常に快適だった。
 スタッフの方に感謝。あと実行委員もアリガトウ。



県連総会にて、採択文の発表



H. 今回が初めてで、いろいろと緊張しましたが、問題なく進められました。いろんなスカウトと話をしたりしていろいろと多く学びました。

I. フォーラムを行ったことで、自分のボーイスカウトに対しての再確認や他地区の人との交流ができて実のあるものだと思います。

J. 毎年テーマが同じようなものでビミョーだったけど、今回は新鮮で面白かった。
 県メンバーでキャンプも楽しいーかも!

K. 今までひたすら活動してきて、深く考える機会が少なかったで、今回のフォーラムに運良く参加できたことによりボーイスカウトのことをもっと好きになることができた。

L. 自分のためにも良いフォーラムになったと思う。また機会があったら参加したいと思う。

M. 普段できない体験をする良い機会だったと思います。リーダーの方々にいろいろな話をさせていただき良かったです。ありがとうございました。

市川第2回 ローバースカウト隊
 小谷 芳弘 (派遣隊クルーリーダー)

の活動や生活に役立ていきます。派遣にあたり、多くの方にご支援、ご指導を頂きましてありがとうございました。

<http://www.scoutchiba.jp/>



**千葉県連盟
 ローバースカウト
 シンガポール
 プロジェクト派遣とは**

千葉県連盟ではスカウト創始100周年事業の一環として、ローバースカウトを日本連盟シンガポール第1団と交流する事を主な目的としてシンガポールに派遣を致しました。また現地では奉仕プロジェクトを通して国際社会の一員としての理解を深めました。

ゲット!! 富士章・千葉県連盟準章・菊スカウト章 受賞スカウト

平成19年12月23日～平成20年8月21日

富士章			菊スカウト章			菊スカウト章			菊スカウト章		
木崎 達也	鎌ヶ谷 2回		宮下 誠	千葉 18回		白鳥 景太	八千代 2回		吉田 雄	千葉 25回	
原田 祐樹	千葉 1回		吉川 海	銚子 3回		安達 凌成	八千代 2回		鵜殿 幸汰	大網白里 1回	
千葉県連盟準章			湯浅 良彦	市川 2回		大門 将寛	八千代 2回		笹尾 佳亮	八千代 2回	
鳥取 将之	君津 2回		塚原 佑希子	香取 2回		高宮 伸太郎	東金 1回		長馬 大知	佐倉 3回	
阪田 麻未	君津 2回		荒木 祥行	匝瑳 1回		松丸 礼子	市川 2回		長縄 祐美子	市原 1回	
上原 康平	君津 2回		高畠 政輝	松戸 8回		辻 裕美	浦安 2回		薄井 良仁	鎌ヶ谷 1回	
木村 理絵	君津 2回		高橋 幸祐	柏 7回		齋藤 龍一	木更津 2回		篠宮 花奈	我孫子 2回	
鎌田 裕樹	君津 2回		藤田 千晶	茂原 2回		泉 伊智郎	木更津 2回		洞毛 晃帆	我孫子 2回	
佐藤 浩司	君津 2回		志村 裕也	千葉 18回		平野 太樹	木更津 2回		武蔵 美和	我孫子 2回	
浮谷 駿宏	八千代 2回		岡村 直記	富津 1回		前田 成貴	木更津 3回		岡部 篤	船橋 5回	
牧内 謙太	松戸 6回		細野 藍響	君津 2回		吉住 友貴	君津 3回		西村 海	千葉 25回	
糟谷 健伍	鎌ヶ谷 1回		日高 大	君津 2回		佐藤 克哉	浦安 2回		加納 亮太	千葉 25回	
木崎 達也	鎌ヶ谷 2回		矢代 智之	八千代 4回		轟 龍馬	佐倉 3回		西村 修一	四街道 2回	
水野 千春	成田 1回		向後 未森	八千代 3回		木崎 尚也	八千代 3回		難波 啓乃	栄 1回	
黒坂 祥史	流山 3回		日方 章紀	銚子 3回		水野 翔太	鎌ヶ谷 2回		海藤 馨	茂原 2回	
三宅 敦子	流山 2回		高神 元輝	銚子 3回		及川 茂之	木更津 2回		中居 大亮	千葉 27回	
土屋 佑輔	船橋 14回		石井 優介	銚子 3回		堀江 優貴	市川 6回		長田 遥	千葉 27回	
菊スカウト章			矢木 里実	八千代 3回		泉 玲緒奈	市川 6回		久古 俊介	千葉 27回	
池田 将司	柏 7回		相川 幸也	習志野 2回		村上 陽祐	印西白井 1回		安河内 直毅	千葉 27回	
大森 秀人	千葉 13回		秋山 隼一郎	松戸 8回		坂野菜々美	千葉 8回		米澤 堯	千葉 27回	
白石 禎晶	千葉 18回		山田 彰英	松戸 8回		西東 悠織	千葉 13回		佐藤 美希	千葉 27回	
			濱田 翔子	船橋 17回		三河 悠涯	千葉 22回		会田 寛喜	旭 2回	
			向後 拓	八千代 2回		植月 聡一	千葉 22回		平原 真美	浦安 1回	
										松戸 6回	

平成19年度千葉県連盟準章受賞スカウト知事顕彰

3月27日(木)千葉県庁本庁舎大会議室にて、千葉県連盟準章受賞スカウト11人、富士章受賞スカウト2人が出席し、堂本知事の急な公務のため代わって植田副知事、田久保県議会議長ほかのご出席をいただき知事顕彰が執り行われた。顕彰後の昼食をかねた懇談会席上で、スカウトの将来への抱負を聞いた。



千葉県連盟準章・富士章取得スカウトの将来への抱負



茂原2回 青木 崇
千葉大工学部で学んでいるので将来は研究者になりたい。



船橋9回 和田 麻央人
21WJにISTで参加し世界を知った。将来は世界を飛び回る職業に就きたい。



君津2回 木村 理恵
21WJに参加し英語で各国のスカウトと交流できたので、もっと英語の勉強をして自由に話しか出来るようにしたい。



市川3回 西川 侑那
将来は英語を生かしたサービス業に就きたいので、大学で英語とサービスについて学びたい。



鎌ヶ谷2回 木崎 達也
柔道をやってきたので、大学ではさらに勉強して世界に通用するトレーナーの資格を取りたい。



松戸6回 平池 碧 (富士章取得)
大学では衛生学を学んでいるので、千葉県庁に就職し人を助けるような職に就きたい。



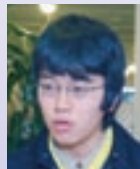
鎌ヶ谷1回 糟谷 健伍
大学では環境について勉強しているので、将来は環境を守る職業に就きたい。



千葉1回 柏原 淳太
大学受験を控えているので、今は受験勉強に邁進している。



旭1回 炭田 晃希 (富士章取得)
大学受験に向け勉強中。



茂原2回 麻生 健
生物系の勉強をしているので、将来は高校の教員になりたい。



田久保 千葉県議会議長
ボースカウトの先輩から、さらに研鑽を積み良きリーダーとして後輩の指導に当たることを望む。



畠山相談役
ボースカウト活動をやっていると、いろいろな機会にめぐまれワールドワイドな活動を通じより広い視野が持てるようになる。また、最近のスカウトは元気が感じられない。元気とスマートネスを磨き将来は良きリーダーとして幼いスカウトの指導に当たって欲しい。



はっけん伝 進級へチャレンジ

部活や塾等で参加率が悪く進級が遅れている君、隊集会に出席しないと進級課目のサインは貰えないと思っている君、もう一度スカウトハンドブックをよく見て欲しい。

進級課目の全てが隊長からあるいは班長から指導を受けないといけないのか、そうではないはずだ。隊長や班長がいなくても、君の周りには多くの指導者(両親や先生等)がいるではありませんか。サインは確かに隊長や班長かもしれませんが、考査にいたるチャレンジは家で、部活や塾等の合間を活用すればいいのです。進級計画もそうですが進級の目

標を設定するのがいいでしょう。そして計画通り進めなかった時はまず、スカウトハンドブックを開き、今日の課目にチャレンジできるか、その結果としてどれがサインをもらえるか、その積み重ねが進級へとつながるのです。スカウト諸君今からでも遅くない。変に納得しないで、チャレンジ!

南総地区コミッショナー 赤羽根 昭男

県内各地区の隊活動便り

インディアンから学ぼう“大酋長をめざせ”

印旛地区

平成20年5月11日(日)、佐倉小学校をお借りして、第13回印旛地区ビーバーラリーを開催しました。印旛地区11団77名のスカウトとお友達が参加し、吹き矢・割箸鉄砲・斧投げ・嗅覚・視覚の5つのゲームを行いました。



【四街道第2団】吹き矢がたくさんあたってうれしかった。(花沢和紀) 吹き矢をふくのが初めてでおもしろかった。(鈴木佳音) 【富里第1団】わりばしてっぽうが楽しかった。お友達がたくさんいて楽しかった。(土屋和輝) 顔にえをかいて、みんなへんな顔になって面白かった。(三橋諒大) 【佐倉第3団】フェ

イスパインティングしたのが楽しかった。(加藤真唯) おのをなげたり、そうがんきょうで探したりするゲームが楽しかった。(金川龍彦) 思ったところに投げられたから、おの投げが楽しかった。(嶋崎統也) 【栄第1団】しゅうちょうさんは、大きな長い羽かざりをつけていました。ふきや・わりばしてっぽう・ジュースのかぎわけをして、みんなでさわいで楽しい一日でした。(鈴木葵) ぼくがたのしかったのは、ふきやおのなげです。テントがあつて、中にはいってあそべたのもたのしかったです。ふきやはもういちどやりたいです。(小川温大) 【八街第1団】おのをなげたり、インディアンのおうちにはいたりしました。わたしはインディアンはこんなにせまいおうちにすんでいるのかとおもい、びっくりしました。一日インディアンになったきがしました。(伊藤かえで)



たのしかった「どろんこあそび」

上総地区 大網白里第1団 カブスカウト隊 宮本 侑汰

大網白里第1団では、夏休みまえの7月19日に、「どろんこあそび」をしました。チランを小学校などにまいたので、この日は、スカウトだけでなく、大ぜいの子どもたちが参加しました。みんなで76人も集まりました。

大網白里町には田んぼがたくさんありますが、どろんこあそびの場所は、米つくりを休んでいる田んぼに水をはってどろんこにしたそうです。ぼくは、田んぼでどろんこあそびをするのは初めてです。おとうさんに言われて、すててもいいような服を着ていきましたが、本当にどろんこまみれになってしまいました。田んぼには、はだし



で入りましたが、ぬるぬるしてきもち悪く、歩きにくかったです。ゲームは、たからさがし、親子ボートレース、どろんこドッジボールとたくさんありました。



たからさがしでは、田んぼのどろの中にかくされた宝の番ごうが書かれたカードをほかの人にとられないように、急いでさがしました。とったカードは帰るときに、なすやきゅうり、トマトにかえてもらいました。ひとりで6こもゲットした人もいたそうです。

ボートレースでは、スノーボートからふりおとされるお友達もいました。それから、ぼくはドッジボールのとき、ボールをぶっつけられてびっくり返ってしまいました。でも、すぐなげ返しました。とつてもたのしいいちにちでした。

寒かった高原キャンプ

香取東総地区 旭第1団ボーイスカウト隊

僕は初めてボーイ隊での県外キャンプに参加しました。福島県裏磐梯高原で8月22日～26日、初めての4泊5日の地区キャンプでした。事前にプログラムを見たとき、山登り、SLの旅に釣りと、とても楽しそうだったので、楽しみにしていました。



キャンプ場はとても寒く、3日目の大雨でキャンプが続けられるのか不安でした。でも後半は、自分のやる仕事が見つかり、仕事が手早く

なっていました。

一番楽しみだったバス釣りでは、残念な事に釣果はありませんでしたが、個人的にこれからは釣りをやりたいと思いました。楽しいこと、辛いことなど思い出沢山の5日間でした。



今回のキャンプでは、僕は後半で体調を崩してしまったのですが、楽しみにしていたプログラムをみんなと一緒にやりたかったので、頑張れるところは頑張りました。

そのために、僕をたくさんの方がフォローしてくれました。自分の団はもちろん、よその団の隊長、副長、スカウト.... みんなに助けられ、最後まで参加できたキャンプでした。

来年は体調万全にして、また参加したいと思いました。

高橋大和

さいがいじゅんびだいさくせん 第6回 災害準備大作戦 ~そなえよつねに~

【場所】4月13日(日)、千葉県連盟主催による「第6回災害準備大作戦」が行われました。

これは、ボーイスカウトの組織と技術を災害支援にいかすことを目的に、毎年開催されるイベントです。

今回の会場は、柏市の中原防災公園。防災という名前がついているとおり、非常用トイレも備わっている、災害時の避難場所です。

当日は朝から小雨が続くあいにくの天気でしたが、県下全域から災害支援要員(災害時救援活動を支援する、千葉県連盟に登録している人たち)が、そして主管する地元、東葛地区からは、災害支援要員をはじめ、ローバースカウトからビーバースカウトまでの多数が参加しました。



【訓練の目的】災害支援要員については、災害支援シミュレーション技能の向上や知識の習得。そして東葛地区のスカウト関係者につ

いては、まさに地元なので、自分たちに何ができるか、どうやって行なうか、を学ぶ機会そのものということになります。

【災害の想定】「東葛地区に災害が発生。行政からの支援要請があり、柏市中原防災公園を拠点として支援活動を行なう。」

【訓練の内容】これに基づき、公園内に災害支援本部現地対策室がおかれ、訓練コーナーが設けられました。

- ① 訓練コーナーの内容を紹介すると、①ロープワーク、②大量た炊き出し、③発電機、④浄水器、⑤ジャッキ上げ、⑥AED実地体験、⑦非常用トイレ、⑧無線通信など。

参加者はこれらを順番にまわって行くこととなります。



「ジャッキ上げ」は、倒れた柱にはさまれた人を、ジャッキで柱を持ち上げて救出するもの。テコの原理を使いロープワークを

組み合わせて行ないます。あまり力の強くない人でも大きな丸太を動かすことができるのに、見学のカブスカウトもびつくり。

「AED」は、自動体外式除細動器(じどうたいがいしきじよさいどうき)の英語(りやく)の略称。心臓に電氣的ショック(除細動:じよさいどう)を与えて、心臓の働きをもどすことを試みる医療機器です。



【まとめ】今回の大会は、災害支援の基本的な技能の向上や知識の習得が目的で、それにふさわしい訓練コーナーが用意されていました。

スカウトのみなさんも、災害支援時には、自分は何ができるか、ということをごひ考えてください。

そして今後、消防や自治会などが主催する、地域の防災訓練などにぜひ積極的に参加していただきたいと思います。

千葉県連盟災害支援委員長 永井隆治

わが地区自慢のキャンプ場紹介

鎌ヶ谷第2回 「自然の森キャンプ場」 松戸・鎌ヶ谷地区

鎌ヶ谷市軽井沢に我がキャンプ場が誕生(平成15年8月)して早5年になります。

ここは鎌ヶ谷市の休有地をお借りして、荒地の山林を隊・団・育成会員総出で開拓した自慢、いや自前のキャンプ場です。

最初に見た当地は、皆異口同音 “これでキャンプ場なんか出来るの?”でした。古瀬団委員長=やるしかない。まず木の伐採をしてサイト・炊事場の確保、背丈もある草刈りからスタート。炊事場ができたものの水がががない。そこで過去350本の井戸を掘った市内在住の名人、三須幸之進さん(77才)に指導を依頼し、古瀬団委員長を中心に伝統の『上総掘り』の開始である。9日後地下24メートルで帯水層・水脈に到達、自分達の井戸が完成。水質検査

OK。三須さん曰く「こんないい水は珍しい」のお墨付です。

それからというものはスカウトの夢は広がるばかり。ファイヤー会場、備品倉庫、屋根付炊事場、トイレ、ベンチ、駐輪・駐車場、……などなど、すべてスカウトと共に自前・手作りのキャンプ場です。

市有地ということでスカウト連協は勿論、他団、一般市民の方々にも広く、そして気軽に利用できる様になっております。また自然を多く残すと言う意味でここを『自然の森キャンプ場』と命名しました。

これからもこのキャンプ場がスカウト達の自然の活動の場となっていくように管理などをしっかり行って参ります。



キャンプ場問合わせ

- 鎌ヶ谷第2回事務局
- 阿部 喜久雄 (047-444-7662)
- 内藤 和夫 (047-445-6173)

ウッドバッジ研修所修了者・実修所履修者の体験談



本当に充実した4日間でした

千葉第15団 カブスカウト隊副長 八木 信篤

私が参加した今回のウッドバッジ研修所カブスカウト課程は、千葉県富津市の「みなと温習舎」と呼ばれる自然に囲まれた古い学校の校舎を舞台に開催されました。開所に当たり、参加者一同がまず体験したことは、道心門といわれる門を一緒にくぐることで、同じ目標と目的を持ったもの同士が一瞬にして一体化できたことでした。もちろん、元々そういう目的で参加しているわけですが、参加理由のいかんを問わず、自分自身への「ちかい」と「おきて」を感じたのは私だけではなかったと思います。

3泊4日の研修は私自身がスカウトの目線を持ちつつ、普段の自隊での隊活動との比較を順序立てて検証ができました。改めてボーイスカウト活動における基本の大切さやしっかりとしたカリキュラムを確認し、今後の活動の改善点が見えました。今回の参加者みんなが同期生としての絆を持ち、今後のスカウティングに活かしていけると確信しています。



スカウトたちの笑顔のために

柏第7団 カブスカウト隊隊長 高橋 あづき

隊長1年目の私は、2月に千葉県連盟スキルアップコースに参加しました。上手に集会展開ができない悩みをもって参加したのですが、実は「スカウト一人一人の姿をしっかりと把握しようとしていなかった自分」に気づきました。これをきっかけに、多くの方々の勧めもあり、実修所に参加したのでした。しかし、那須野営場の深い森を前にして、不安で胸が一杯でした。

野営しながらのセッションは、慣れない事、わからないことなどで、初めはついていくことも大変でしたが、「わからないからこの場にいる」と考え直しました。このように取り組んだ結果、貴重な経験と多くのことを学ぶ場を得たと思います。私がこの活動になぜ参画しているかを問い直す良い機会となり、多くの仲間がいることにも気づくことができ、有意義な5泊6日となりました。

支えていただいた多くの方に感謝するとともに、スカウトたちの笑顔のためにボーイスカウト活動を進めていこうと心をあらたにしました。



ウッドバッジ研修所に参加して感動したこと

松戸第6団 ボーイスカウト隊副長 平池 碧

今回、ウッドバッジ研修所に参加することによって、スカウトとして参加していた活動がどのような意図を持って行われていたのか、指導者の視点から学ぶことができ、とても勉強になりました。今まで自分の一つ一つの行動がちかいやおきてに結びついているのに気付いたときは、大変感動しました。自分達の隊指導者がこれまでの活動を企画して実際、活動していたことに驚き、私もスカウト達の考えを無視しないで進められるような隊活動をできるようにしたいと思うようになりました。

また、同じグループの人と話し合った内容は指導者として経験の浅い私には新鮮で、別の視点から物事を捉える大切さを学ぶことができました。スカウトの立場から学んだことも多かったです。指導者の立場から学ぶことはそれより多かったと思います。これからもスカウト達にとって良い指導者でいられるように勉強し、実践していけたらと思います。



ウッドバッジ研修所を終えて

松戸第4団 ビーバースカウト隊隊長 和田 慶則

私は今年のウッドバッジ研修所ビーバースカウト課程を終えることができました。昨年9月、ビーバー隊長の役務を受けることになり、基本を知らずして、年間プログラム、隊集会を企画、運営、また他の指導者のアドバイスをもらいながら、がむしゃらに行動してきました。しかし、スカウト達が喜ぶ集会とは？隊長としての指導者のあり方とは？と日々、疑問の連続でした。そこへウッドバッジ研修所の話があり、日々の疑問の解決のために、参加を決めました。悪天候にもかかわらず、3泊4日の研修を無事終え、今回、受け入れてくださった川上所長はじめ所員の方々や仲間のおかげで、ビーバースカウトと同じ視線に立って活動していくこと、技ではなく、心の触れ合いを大切にすることが、指導者すなわち隊長の本当のあり方だとわかりました。今後も一人一人のスカウトと接して行き、「大好きな隊長！」と呼ばれるよう心がけて行きたいと思っています。

***** 第10回 日本アグーナリーに参加して *****

松戸第7団 ボーイスカウト隊 佐藤 大樹

僕は、この大会を通してたくさんの人々と交流し、友達ができとても楽しかった。でも班長として、十分に班員をまとめられなかった。そして少し先輩やリーダーに、たよりがちな時もあったと思う。

しかし今まで参加してきた大会の中で、一番皆と協力してできたと思った。班長として大会に参加したのは、今回が初めて、でした。

その初めての大会で、なんと僕が団を代表して、秋篠宮殿下に会うこととなった。とても緊張したが、すばらしい思い出となった。

これからも今回の経験をもとにがんばりたい。



お言葉を述べられる、秋篠宮殿下

松戸第7団 カブスカウト隊 佐藤 直樹

僕が、アグーナリーに行って一番楽しかったのは、「兵庫の夕べ」です。

ハッシュドポテトや、アーチェリー、つりなど、食べ物を食べたり、ゲームをしたり、いろいろなことをしました。アーチェリーは初体験なので、ドキドキしました。

初めて、アグーナリーに行って「アグーナリーって、こんなに楽しいんだ。」と思いました。

あと、パンも焼きました。こねて、のばして、中身を入れて、発酵させて、焼いて出来上がり、食べました。それはとてもおいしかったです。

「We can あなたといれば」も、気に入っています。今も家で時々言っています。僕も、これからいろいろなことに、チャレンジしたいと思います。

次のアグーナリーは、野営で参加するぞー!!

平成20年度 千葉県連盟年次総会報告

千葉県連盟 事務局長 星 淳一

平成20年度の年次総会は八千代・習志野地区のご協力により八千代市市民会館で6月8日(日)に開催されました。

最初の会議の部では19年度の事業報告・収支決算、20年度の事業計画・収支予算及び県連盟役員の改選がそれぞれ承認され、引き続き行われた災害準備大作戦の担当地区の抽選会は、担当地区があと4地区のみになりましたので、開催順番を決めるくじを引くことになり、その結果平成22年度は北総地区、平成23年度は八千代・習志野地区、平成24年度は市川・浦安地区、平成25年度は船橋地区に決定し、それぞれの地区に開催依頼書が理事長から手渡されました。



災害支援担当地区の抽選

続いて記念講演会に移り、講師は仙田晃氏で「保育の仲で子どもとかかわる面白さ、難しさ、そして厳しさ」と題した講演をいただき、子どもに携わる指導者の方々は熱心に聴講されていました。



講師の仙田 晃氏

その後休憩をはさんで式典の部へと移り、多数の来賓の方をお招きして、連盟長の式辞、来賓祝辞に続き、年次表彰、顕彰が行われました。式典の最後はベンチャースカウトフォーラムでの採択文「受身はダメ! —活動を通して「自分のボーイスカウト」を見いだそう!!—を代表スカウト5人がパフォーマンス入りで発表し、会場の皆さんにアピールしました。

懇親会では日本連盟表彰受章者の方のお祝いを併せて行い、和やかな雰囲気の中で懇談し閉会時には全員でソング、弥栄三唱で散会となりました。

準備段階から当日の後片付けまで地区が一丸となってお協力をいただき無事終わりましたこと、あらためて八千代・習志野地区の皆様にご挨拶申し上げます。

23rd
WORLD SCOUT
JAMBOREE
MONDIAL
2015
JAPAN



第23回
世界スカウト
ジャンボリー
日本招致、
開催国に決定!!

新

地区だより



千葉地区

当地区は千葉市内の16個団をもって構成しています。

当地区のボーイスカウトは、昭和32年に当時の教育長が、子ども達の教育には学校教育と社会教育の両輪が必要であると言われ、指導者養成の研修会が開催されたことから始まりました。この時参加した人達がそれぞれの団を興したわけです。昨年から発団50周年を迎える団が出てきました。

当地区の特徴を幾つか紹介します。まず、国際交流活動が盛んです。千葉市の姉妹都市であるフィリピンのケソ



ン市と米国ヒューストン市のボーイスカウトとの定期的な派遣・受入活動を行なっています。

ケソンとの交流は昭和55年に第1回目を実施し、これまでに12回実施しました。

ヒューストンとの交流は昭和59年にスタートし、今夏、第8回目を実施したところでした。

次に紹介するのは、市内のボーイスカウト、ガールスカウト、海洋少年団で組織する千葉市少年三団体連絡協議会の活動です。毎年、千葉市教育委員会と共催でスカウト達が計画したプログラムにより、異団体の青少年同士で一日を楽しんでいます。また、毎年8月に開催される千葉市親子三代夏祭り

では、三団体のスカウト達が、パレード出場の一般団体のプラカードを持って一緒にパレードするという奉仕活動を行なっています。

この他、五つの部門共、地区行事として定期的にラリーや技能大会を実施し、地区内の交流を図っております。

編集後記

今号は、2頁増の10頁となりました。

ひとつは、最近、研修所・実修所を修了・履修された4人の方々に、より良い指導者になろう、との抱負、ご苦労などを、その体験を通して寄稿していただいた指導者の頁です。

さらに、17CRの特集ともいえる、スカウト198人の俳句・感想文を見開きで、一挙公開いたしました。スペースの関係で写真を割愛いたしましたので、すでに千葉県連盟ホームページ上には、たくさんの方の写りが掲載されております。そちらもご覧いただくとともに、近々制作の広報貸出パネルに反映いたしますのでご期待下さい。

編集長 上野 孝

	団数	隊数	団委員	指導者	スカウト	計
登録数	16	67	136	278	765	1,179

〔加盟登録状況〕平成20年8月31日現在